

通信

poco a poco

http://www.takagi-piano.com

発行人

高木ピアノサービス

六六二〇九六二
六宮市松下町七四六

電話・FAX

〇七九八(三六)〇一五二



旅行の準備は五月、シヨパンコンクールのチケットを購入することから始まった。コンクールのチケットは、本選と三次予選は発売と同時に即完売状態が予想されるから。そこで、「シヨパンアカデミー」出身で、スタインウェイアーティストとして活躍しているピアニスト浦山純子さんにチケット購入の依頼した。旅の日程はおおよそ決まっていたのだが、コンクールのチケットは二次予選の二日間を押さえることができた。

ポーランド 旅行記

あけまして、おめでとうございませう。「高木ピアノサービス」のお客様には、このニュースレターをもって新年のご挨拶とさせていただきます。このニュースレターも、年数回の発行予定でしたが、最近の新年号だけとなってしまいました。さて、今回のツアーは、シヨパン生誕二〇〇年と五年



2011年 1月

一度開催されるシヨパンコンクールがあるのがポーランドへと決めていました。そして、今回も海外のピアノ事情をお伝えするべきピアノ工場へと向かうはずでしたが、リーマンショック以後、ポーランドのピアノメーカーは存在していないことが判明したためピアノの修理工房を訪ねることにしました。



コンクール会場。ペットボトルの置いてある席が審査員席で右から2番目がアルグリッチ 左から2番目が小山実稚恵の席です。

一度は本物を聴いてみたいと思うに違いない。シヨパンコンクールの会場では、日本から留学しているシヨパンアカデミーの学生を紹介して貰っているのが落ち合うことになっている。会場は、さほど大きくないが、「荘厳なたたずまい」と感じるのは、その歴史の重さを感じるからだろうか。入り口あたりには出場する国々と思われる国旗が掲げられている。

コートは預け席へと着く。ステージには、ヤマハ・スタインウェイ・ファツイオリの3台が置かれている。本日はカワイのピアノもあるのだが、この日に使う予定はないらしい。午前10:00 今日二次予選の4日目でロシア人からの演奏が始まる。日本人女性、中国系のアメリカ人、ポーランド人と約50分さきみで演奏が続き午前の部は終わる。シヨパンコンクールだけに、演奏される曲は全部シヨパンの曲。いくらシヨパンの曲が好きだからと言っても、全部をまとも聴くには疲れるので聞き流す演奏もかなりある。しかし、さすがに、予選を勝ち抜いてきた人達だけに、ハツとさせられる演奏もあり、その実力がうかがえる。

休憩の時に留学生(美人の女性でした)と顔合わせして、「お昼ご飯を食べておいた中へ繰り出した。彼女の紹介で地元料理を食べられるレストランに入り、ポーランドの餃子を食べた。(もちろん、ビールも注文)餃子と言っても日本で食べられるようなものではなく、中の具には、豚肉・牛肉・じゃがいも・野菜・チーズなど色々な種類のものがあり、注文したのは数種類のものが混在している盛り合わせを注文した。お腹もいっぱいになりレストランを

後に、高木のシヨパンコンクールは終わった。その後、シヨパン博物館を訪れ、ワルシャワ市内を案内してくれた彼女に謝礼を渡して別れた。10月14日 午前5:00 ホテルのロビー

★シヨパン国際ピアノコンクール

シヨパン国際ピアノコンクールは、ポーランドの生んだ作曲家兼ピアニストのフレデリック・シヨパンを記念したピアノ演奏のコンクール。一九二七年に第一回が開催された。現在世界的に最も権威あるコンクールの一つと言われ、ピアニストを目指す者にとっては最高の登竜門の一つと見なされている。

★クラクフ

クラクフは、ポーランド南部にある都市で、マウオポルスカ県の県都。ポーランドでも最も歴史ある都市の一つであり、17世紀初頭にワルシャワに遷都するまではクラクフがポーランド王国の首都であった。また第二次世界大戦であまり被害を受けなかったこともあり、世界遺産に登録されている旧市街には、歴史的な建造物が多く残っている。なかでも旧王宮であるヴァヴェル城や聖マリア教会、織物会館などは有名で、観光客にも人気がある。

★ワイキペディアより抜粋

今回のポーランドの記事はいかがでしたか?いつもより感じて頂こうと少し画像を大きくしました。高木

「SAP」の人達が記念撮影。後の建物には、ここでシヨパンが踊ったと記されている。



「SAP」の人達と記念撮影。後の建物には、ここでシヨパンが踊ったと記されている。

迷う。通りを間違えていたようで、何とかホテルにチェックイン。ホテルでの食事は終わっていたので、近くのレストランで夕食をとり、旅の疲れもありボタンキユーとなる。

10月15日 この町の観光をお昼までして、午後からは、世界遺産の街「クラクフ」へと向かう。プロツワフから電車で乗り、しばらくすると、この電車が遅れていることがわかった。海外では、遅れていることや次の停車駅の案内など殆ど期待できないので、降りる駅を乗り過ごす。結局、終点だった。どおりで案内がないはずだ。



プロツワフの旧庁舎 なんて素晴らしい!

この後、隣の駅まで送ってもらい、ホテルのあるプロツワフまで向かう。プロツワフで電車を降りてホテルへと向かうが、ホテルの場所が分からないので少しおどろいた。クラクフは明日の午後には発つことに

この後、隣の駅まで送ってもらい、ホテルのあるプロツワフまで向かう。プロツワフで電車を降りてホテルへと向かうが、ホテルの場所が分からないので少しおどろいた。クラクフは明日の午後には発つことに